

オステオパシー・ダイレクトテクニック



講師 東京オステオパシーキャビネ 柴岡 宏二
 Diploma d'Osteopathe JOMA 認定オステオパス
 JOMA 認定オステオパス (JOMACO)

- 筋骨格系へのオステオパシーダイレクトテクニック
- 前期と後期で分けています。何方からでも参加できます。

筋骨格系のオステオパシーダイレクトテクニックのセミナーを行います。…これに準じたプリントも各セミナーで毎回配られます。セミナーは前期 4 回と後期4回が有り、セミナーは分けて行い内容が異なります。

筋骨格系へのダイレクト・トリートメント(直接法)は、オステオパシーの筋骨格系の生体力学の理解・触診の正確さ・安全性の認識・などの必要不可欠な基本的学術を必要とし、他のオステオパシーマニピュレーションを学ぶ上でも必要不可欠な、体捌きや、技法の基礎を習得するのに適しています。

筋骨格系のオステオパシーは実際の施術頻度が高く、世界のオステオパシー手技の教育に置いて、多くの学校がマニピュレーションの基礎として、ダイレクト・トリートメントの教育に多くの時間が割かれています。

ダイレクト・テクニックは 20 世紀初頭、伝統的オステオパシー教育が成されていた時代、カークスピル大学初期の教授エデンス・アシュモアDOなどは、手技の教育に置いては、間接法の難解な教育よりも直接法の学生教育を、手技習得のための基礎として重きを置いた。

ダイレクト・テクニックは、物理的トラウマから生じた機能障害や、関節機能障害の固着が強い場合に大きな効果を発揮し、オステオパシーの重要な伝統的手技であり高度な手法のため独学は不可能です、熟達の領域に達すると、高度で芸術的なオステオパシー手技に発展する匠の技です。

JOMAの今回企画したダイレクト・テクニックは限られた時間ですが、オステオパシーの筋骨格系の全体性と各構造の原理と、各部位の触診、安全性の知識とその評価、ソマテック・ディスファンクション(SD)・各部位の関節構造を中心とした生体力学と、オステオパシー検査法のTART・ダイレクトテクニックの原理・ダイレクトテクニックの実技、を網羅したオステオパシーにとって必要不可欠なセミナーを行います。

- ・オステオパシクな各テーマ(結合組織・呼吸循環・神経・その他…)
- ・各構造の原理
- ・評価(安全性の評価・TART)…SD/禁忌
- ・触診
- ・ダイレクト・トリートメント
 - 軟部組織法(ST)・関節法(ART)・高速度底振幅法(HVLA)・筋力法(ME)

オステオパシー・ダイレクトトリートメント

前期・後期各 4 回シリーズのセミナーです。セミナー中心内容は以下のように成ります。

前期ダイレクトセミナー ダイレクトの基礎と股関節・下肢・骨盤・腰椎の生体力学と各種調整手技。

後期ダイレクトセミナー 胸椎・肋骨・頸椎・上肢の生体力学と各種調整手技。

第一回目 2017 年 4 月 30 日 (※4/23 から日付変更致しました)

テーマ・OMT概論・ダイレクトの基礎原理

オステオパシー哲学とマニピュレーション

筋骨格系のオステオパシックスな視点

生体力学・神経学・呼吸循環器の統合的見方

各ダイレクトテクニックの種類(ST・ART・HVLA・ME)

基本的OMTの施術の適応・基本的禁忌・施術の進め方

関節機能障害／筋・筋膜機能障害

ソフトティシュー・トリートメント(ST)

アーティキュレートトリートメント(ART)

ハイベロスティー・ローアンピテュード(HVLA)

マッスルエネルギートリートメント(ME)

各トリートメントの定義・原理・効果・方法・一般的禁忌

股関節部・ダイレクトトリートメント

股関節部の構造と機能

股関節のSD・筋筋膜のSD

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査

実技・・・ST・ART・ME

第二回目 2017 年 5 月 14 日

発生学と力学的特性

発生学とオステオパシー

結合組織の特性・ウオルフの法則

下肢概論

下肢の構造と機能(膝・下腿部・足根部・足)

下肢のSD(膝・下腿部・足根部・足)・・・足底筋膜炎

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査下肢・ダイレクトトリートメン

ト・・・ST・ART・HVLA

第三回目 2017 年 6 月 18 日

テーマ SDの神経学的洞察

ファシリテーションとは(アービンコーとデンスロー)

ファシリテーションの幾つかの段階・・・神経の記憶のカテゴリー

骨盤・ダイレクトトリートメント

骨盤の構造と機能・・・(仙骨と副交感神経)

寛骨のSD(腸骨・恥骨) 仙骨のSD 尾骨のSD 骨盤隔膜のSD

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査

実技・・・ST・ART・HVLA・ME

第四回目 2017 年 7 月 23 日

腰部「腰椎」・ダイレクトトリートメント

フライアットの法則・ネルソンの法則・・・椎間板に対する古典的手技

腰椎の構造と機能

腰椎のSD

器質的問題と機能的問題の識別・禁忌と適応

椎間板ヘルニア ・ 脊柱管狭窄症 ・ 脊柱滑り症の臨床知識

検査法(視診・問診・触診)・・・スクリーニングとスペフィックな検査

実技・・・ST・ART・HVLA・ME

実施要項

1. 日程
- | | | |
|-----|--------------------|------------|
| 第1回 | 2017年4月30日(日) | 午前10時～午後4時 |
| | (※4/23から日付変更致しました) | |
| 第2回 | 2017年5月14日(日) | 午前10時～午後4時 |
| 第3回 | 2017年6月18日(日) | 午前10時～午後4時 |
| 第4回 | 2017年7月23日(日) | 午前10時～午後4時 |

2. 会場

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目5-7 ユービル 7階 7D号室

スタイル アカデミー ジャパン・日本オステオパシーメディスン協会

沿線・最寄駅

- ①「人形町」 駅 徒歩5分 東京メトロ日比谷線 都営地下鉄浅草線
- ②「小伝馬町」 駅 徒歩6分 東京メトロ日比谷線
- ③「三越前」 駅 徒歩7分 東京メトロ銀座線 | 東京メトロ半蔵門線
- ④「新日本橋」 駅 徒歩7分 JR 総武本線

TEL/FAX **03-6661-9018**

3. 申込み
- 参加希望者は所定の申込書に必要事項を記入して4月14日までに FAXにて日本オステオパシーメディスン協会へお申込み下さい。また下記口座へお振込みください。
FAX：03-6661-9018

振込先

銀行：みずほ銀行 飯田橋支店 店番号061
口座番号 普通 2441537
日本オステオパシーメディスン協会
代表 原田 健穰 (ハラダ ケンジョウ)

4. 定員人数
- セミナー受付人数 30人(人数が開催可能な人数に達しない場合はセミナー開を見送らせて頂きます。この場合は入金されたセミナー費用の金額は返金します。)

5. 参加費

支払い方法は次のようにいたします。

①全て前納一括払い、会員のみ分割可。

②JOMA 会員で前納の方は割引いたします。

分割の方・申し込み期限を過ぎての申込みの方は割引をいたしません。

また、割引の入金は締切日の営業日必着でお願いいたします。

③参加費は欠席されてもお返しいたしません。

J O M A 会 員

分割 11,000 円 × 4 回 = 44,000 円

前納 40,000 円の 20% 引き = 35,200 円

JOMA 会員で二回以上このセミナーを出た方は、一回からでも参加を認める。セミナー開催日の一週間前に一回ごとに入金する事。・・・一回につき 12,000 円

国家医療有資格者（一般）または

2 年制以上のオステオパシー・カイロプラクテック教育機関卒業者

前納 17,000 円 × 4 回 = 68,000 円

国家医療資格養成校学生（学生）または

2 年制以上のオステオパシー・カイロプラクテック養成校

前納 12,000 円 × 4 回 = 48,000 円

※キャンセル料：セミナー開催日の8日前までは振込手数料を差し引いた残金を返金いたします。
7 日前（開催 1 週間前の同じ曜日）からは料金の 10% と振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。

6. 備 考

- カメラ・動画に類する撮影・持ち込みはできません。 録音は可能です。
- この技術を使用し万が一事故が生じた場合、当会では一切責任を負いません。
- 参加者は誓約書にサインしていただきます。
- 万が一、休講された場合でもビデオ学習は御座いません、御了承ください。
- セミナーを妨害する行為を禁じます。主催者に退場を言渡された場合速やかに従う事。

オステオパシー・ダイレクトセミナー「前期」申込書

2017年 月 日

氏名	漢字	ローマ字
年齢	才	男性 ・ 女性
住所	〒	
電話番号	Tel - -	Fax - -
Email		
※所属団体	JOMA 会員 ※その他()	
※国家資格	注1	
※学校名	注2	
※卒業校名	注3	
※振込予定日	注4 年 月 日 会員のみ(一括払い、分割払い) どちらかに○	

※ は必須項目ですので必ずご記入ください。

注1：医療国家資格をお持ちの方は明記し、証書の写しをお送り下さい。

注2：医療国家資格校の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等の学生は学校名を明記し、学生証の写しをお送り下さい。

注3：オステオパシー・カイロプラクテック2年生養成校等を卒業している方は学校名を明記し、卒業証の写しをお送り下さい。

注4：分割払いの方は、事務所にご連絡ください。

○ 過去に JOMA 主催のセミナーを受講された方は、再度、注1・2・3の証書等の写しは必要ありません。

～ご参加の動機について該当するものにチェックを入れてください～

- JOMA ダイレクト・メールを見て
- JOMA ホームページを見て
- 口コミ
- 紹介(紹介者名:)
- 雑誌や広告()